

津山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	社会科学入門	
科目基礎情報							
科目番号	0065			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電子制御工学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	「憲法のいま」（敬文堂）倉持孝司／小松浩 編著						
担当教員	大田 肇						
到達目標							
学習目的：国家の役割を理解していく中で、日本社会の有り様を把握していくとともに、それらの国家が創り出す国際関係についても論究していく。							
到達目標： 1．日本国憲法の特殊性を理解できる。 2．日本国憲法の人権保障について理解できる。 3．日本国憲法の統治機構について理解できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		日本国憲法の特殊性を、歴史的、比較法的に理解できる。		日本国憲法の特殊性を大まかに理解できる。		日本国憲法の特殊性の基礎を理解できていない。	
評価項目2		日本国憲法の人権保障について、歴史的、比較法的に理解できる。		日本国憲法の人権保障を大まかに理解できる。		日本国憲法の人権保障の基礎を理解できていない。	
評価項目3		日本国憲法の統治機構について、歴史的、比較法的に理解できる。		日本国憲法の統治機構を大まかに理解できる。		日本国憲法の統治機構の基礎を理解できていない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		一般・専門の別・学習の分野：一般・人文・社会 必修・履修・履修選択・選択の別：履修選択 基礎となる学問分野：法学／政治学 学科学習目標との関連：本科目は一般科目学習目標「（５）国際性に富んだ人材を育成するための幅広い教養を身につける」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「（F）コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成，F－2：発表や討論をとおして，相手の考え方や知識の相互理解ができること」である。 授業の概要：国際化の時代において，国家の役割は相対的に低下しつつあるとは言え，それに代わる権力組織は存在しない。その働きを，憲法という視点から探っていく。					
授業の進め方・方法		授業の方法：テキスト・資料などを適量に分けて報告者に割り振っていく。報告者の報告をもとに，質疑応答を展開する。 成績評価方法： 1 0 0％＝前期末試験 8 0％＋予習用レポート 1 0％ ＋課題レポート 1 0％ 再試は実施しない。					
注意点		履修上の注意：本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。1単位あたり授業時間として1 5単位時間開講するが，これ以外に3 0単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。 履修のアドバイス：「黙っていても，技術で喰っていける」時代は過ぎ去った。最低限の表現能力は，身につけよう。 基礎科目：政治経済（2年），現代社会と法（4年） 関連科目：人間と歴史（5年） 受講上のアドバイス： 「沈黙は金」ではなく「沈黙は成績不可への道」と思って，積極的に発言しよう。そのために，次週報告範囲の事前レポートをしっかりと作成してこよう。そのために，教科書を事前にしっかりと読もう。そうした「予習」をやりやすくするために，比較的わかりやすい論理の本を教科書に選んだ。こうして，君の文章読解力も鍛えられるという高専最終学年にふさわしいオールラウンド型の講義となる。遅刻が多くなった場合は，その時点で，指示を出します。					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 報告者の決定				
		2週	テキストの報告				
		3週	テキストの報告				
		4週	テキストの報告				
		5週	テキストの報告				
		6週	テキストの報告				
		7週	テキストの報告				
		8週	テキストの報告				
	4thQ	9週	テキストの報告				

		10週	テキストの報告	
		11週	テキストの報告	
		12週	テキストの報告	
		13週	テキストの報告	
		14週	テキストの報告	
		15週	後期末試験	
		16週	後期末試験の返却と解答解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0